

平成 30 年度 第 1 回国際委員会議事録

日時：平成 30 年 4 月 12 日（木）7:00～8:00

場所：ポートピアホテル神戸 本館 B1 階 「布引」会議室

出席：(担当理事) 中村 雅也

(委員長) 松山 幸弘

(委員) 小澤 浩司、波呂 浩孝、加藤 慎介、千葉 一裕、

酒井 大輔、川口 善治、種市 洋、宮腰 尚久

JSSR2018 事務局 (高橋 真治)

欠席：石井 賢(敬称略)

1. 担当理事から委員会への報告事項、検討依頼事項

1) 第 12 回 Asia Traveling Fellowship 派遣

トラベリングフェローの選抜結果と行き先につきフェローを集めて発表を行った。フェローには来年の JSSR 総会での English Presentation Award 評価者となって頂くようにと伝えた。

2) JSSR・台湾トラベリングフェローの受け入れ報告

2017 年 12 月 11 日から獨協医大、18 日から慶應大学を訪問し無事に帰国された。受け入れ施設より報告書を頂く予定。

本年度も継続する。

TWSS との交換派遣と発表

TWSS2018 で 3・5 名の優秀発表者を決め、JSSR2019 に発表していただく。また JSSR2018 での EPS 優秀発表者を 3・5 名決め TWSS2019 で発表いただく。旅費はそれぞれの学会が持つ。

3) Spine week 2020 への対応について

理事会で審議を行い、シンポジウム一つを組む (no charge が条件) 方向で承認された。対応は中村理事と Robert Gunzburg の間で執り行う。Spine week は歴史のある国際企画であるので、財政的な問題が発生しない限り継続の方向とした。

4) A0 Global Spine Congress 2018 への参加

松山委員長、波呂委員、川口委員、石井委員が出席

今後も参加を継続するかどうかは要審議。

- 5) JSSR2018 における国際委員会招聘演者の食事会について
4月14日金曜日6時半より執り行う。
- 7) Spine Across the Sea 2018 準備状況報告
2018年7月29日~8月2日、カウワイ島マリオットで開催される。ファカルティーには20万円がJSSRより支給される。
- 8) JSSR 国際化推進に向けての継続審議
ISSLS2019 京都におけるサテライトシンポジウムなど JSSR として協力できることについて前向きに協議し、千葉委員と紺野会長の間で連絡を取り合ってもらった事とした。
- 9) APSS との協力体制構築に向けて
NASS、APSS などと協力体制を強化し、学術集会で Global Symposium を組むなどの試みを今後も討議していく。IMAST2020 が日本で開催されるので、協力していく。
- 10) SSA との協力体制構築に向けて（酒井委員）
Spine Society of Australia 会長とメールベースの連絡を取り合い、アライアンス提携、代表者の相互招聘、会員の参加費割引、フェロシップについて協議を進めることが承認された。
- 11) 委員会から理事会への審議依頼事項
JSSR 会員への各種国際的な情報をメール一斉配信(Bcc)について継続審議頂くことが確認された。
JSSR へ公式に参加オファーがあった団体への出席時の旅費について JSSR より拠出する取り決めにつき理事会で審議頂くこと。
ISSLS2019、APSS、SSA との相互協力体制構築推進の承認。
- 12) 理事会より依頼事項
各海外学会、イベントへの対応につき、急増しているので、ランク付けを行い、ランク毎に対応を統一する方向で討議するようとの依頼があり、今後 KSS, TWSS, APSS, NASS, ISSLS, SSA, Spine Week, Global Spine Congress などとのあり方について継続審議していく。
- 13) 次回委員会日程について5月23日17:30より予定する。

以上